

参考文献

第1章 なぜ社会保障は重要か

- カール・ポラニー 『[新訳] 大転換——市場社会の形成と崩壊』(野口建彦・栖原 学 訳 東洋経済新報社, 2009年 [原著1944年])
- 正村俊之 『グローバリゼーション 現代はいかなる時代なのか』(有斐閣, 2009年)
- 福澤直樹 『ドイツ社会保険史 社会国家の形成と展開』(名古屋大学出版会, 2012年)
- 田中拓道 『貧困と共和国——社会的連帯の誕生——』(人文書院, 2006年)
- J.M.ケインズ 『雇用・利子および貨幣の一般理論』(普及版, 塩野谷祐一 訳 東洋経済新報社, 1995年 [原著1936年])
- ウィリアム・ベヴァリジ 『ベヴァリジ報告 社会保険および関連サービス』(山田雄三 監訳 至誠堂, 1967年 [原著1942年])
- 横山源之助 『日本の下層社会』(岩波文庫, 1985年 [原著1899年])
- 農商務省商工局工務課工場調査掛 『職事情』(上)(中)(下)(犬丸義一 校訂 岩波文庫, 1998年 [原著1903年])
- 細井和喜蔵 『女工哀史』(岩波文庫, 2009年 [原著1925年])
- 濱口桂一郎 『労働法政策』(ミネルヴァ書房, 2004年)
- 齋藤純一・宮本太郎・近藤康史 編 『社会保障と福祉国家のゆくえ』(ナカニシヤ出版, 2011年)
- 堀 勝洋 『社会保障法総論』(東京大学出版会, 1994年)
- 広井良典 『日本の社会保障』(岩波新書, 1999年)
- 橋木俊詔 『安心の社会保障改革 福祉思想史と経済学で考える』(東洋経済新報社, 2010年)
- 橋木俊詔 『朝日おとなの学び直し 経済学 課題解明の経済学史』(朝日新聞出版, 2012年)
- 松村祥子 編著 『欧米の社会福祉の歴史と展望』(放送大学教育振興会, 2011年)
- 糸賀一雄 『福祉の思想』(NHKブックス, 1968年)
- 小峯 敦 編 『福祉の経済思想家たち』[増補改訂版](ナカニシヤ出版, 2010年)
- 椋野美智子・田中耕太郎 『はじめての社会保障』[第9版](有斐閣アルマ, 2012年)
- クリストファー・ピアソン 『曲がり角にきた福祉国家——福祉の新政治経済学』(田中浩・神谷直樹 訳 未来社, 1996年 [原著1991年])
- 東京大学社会科学研究所 編 『転換期の福祉国家 [上]』(東京大学出版会, 1988年)
- 坂井素思・岩永雅也 編著 『格差社会と新自由主義』(放送大学教育振興会, 2011年)
- 友枝敏雄・山田真茂留 編 『Do! ソシオロジー』(有斐閣アルマ, 2007年)
- Paul Pierson “Dismantling the Welfare State?: Reagan, Thatcher and the Politics of Retrenchment” (Cambridge University Press, 1994)
- 宮本太郎 編 『比較福祉政治——制度転換のアクターと戦略』(早稲田大学出版部, 2006年)
- アンソニー・ギデンズ 『第三の道——効率と公正の新たな同盟』(佐和隆光 訳 日本経済新聞社, 1999年 [原著1998年])
- 横山和彦 『社会保障論』(有斐閣, 1978年)

- 宮本太郎 『福祉政治 日本の生活保障とデモクラシー』(有斐閣, 2008年)
- 宮本太郎 『生活保障 排除しない社会へ』(岩波新書, 2009年)
- 伊東光晴 編 『岩波 現代 経済学事典』(岩波書店, 2004年)

第2章 社会保障と関連する理念や哲学

- 伊奈川秀和 『フランス社会保障法の権利構造』(信山社, 2010年)
- 重田園江 『連帯の哲学 I フランス社会連帯主義』(勁草書房, 2010年)
- (再掲) 田中拓道 『貧困と共和国——社会的連帯の誕生——』(人文書院, 2006年)
- 近藤康史 『個人の連帯 「第三の道」以後の社会民主主義』(勁草書房, 2008年)
- アダム・スミス 『道徳感情論』(上)(下)(水田 洋 訳, 岩波文庫, 2003年 [原著 1759年])
- アダム・スミス 『国富論』(一)~(四)(水田 洋 監訳, 杉山忠平 訳, 岩波文庫, 2001年 [原著初版1776年, 原著第五版1789年])
- 大野忠男 『自由・公正・市場 経済思想史論考』(創文社, 1994年)
- 堂目卓生 『アダム・スミス 『道徳感情論』と『国富論』の世界』(中公新書, 2008年)
- 塩野谷祐一 『経済と倫理——福祉国家の哲学——』(東京大学出版会, 2002年)
- 塩野谷祐一・鈴木興太郎・後藤玲子 編 『福祉の公共哲学』(東京大学出版会, 2004年)
- ジョン・ロールズ 『正義論 改訂版』(川本隆史・福岡 聡・神島裕子 訳 紀伊國屋書店, 2010年 [原著改訂版1999年, 原著初版1971年])
- ジョン・ロールズ 著/エリン・ケリー 編 『公正としての正義 再説』(田中成明・亀本 洋・平井亮輔 訳 岩波書店, 2004年 [原著2001年])
- アマルティア・セン 『正義のアイデア』(池本幸生 訳 明石書店, 2011年 [原著 2009年])
- 川本隆史 『ロールズ——正義の原理』(講談社, 2005年)
- 長谷部恭男 『続・Interactive 憲法』(有斐閣, 2011年)
- (再掲) 広井良典 『日本の社会保障』(岩波新書, 1999年)
- ロバート・ノージック 『アナーキー・国家・ユートピア 国家の正当性とその限界』(嶋津 格 訳 木鐸社, 1992年 [原著1974年])
- M・J・サンデル 『リベラリズムと正義の限界 原著第二版』(菊池理夫 訳 勁草書房, 2009年 [原著第二版1998年, 原著初版1982年])
- マイケル・サンデル 『これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学』(鬼澤 忍 訳 早川書房, 2010年 [原著2009年])
- 川崎 修・杉田 敦 編 『現代政治理論』(有斐閣アルマ, 2006年)
- W・キムリッカ 『新版 現代政治理論』(千葉 眞・岡崎晴輝 訳者代表 日本経済評論社, 2005年 [原著第二版2002年])
- アダム・スウィフト 『政治哲学への招待——自由や平等のいったい何が問題なのか?』(有賀誠・武藤 功 訳 風行社, 2011年 [原著2006年])
- 田中成明 『現代法理学』(有斐閣, 2011年)
- 亀本 洋 『法哲学』(成文堂, 2011年)
- 原 美和子 「浸透する格差意識 ~ISSP国際比較調査(社会的不平等)から~」(NHK放送文化研究所 『放送研究と調査』2010年5月号)

- 高橋幸市・村田ひろ子 「社会への関心が低い人々の特徴 ～「社会と生活に関する世論調査」から～」(NHK放送文化研究所 『放送研究と調査』2011年8月号)

第3章 日本の社会保障の仕組み

- 広井良典・山崎泰彦 編著 『社会保障』(ミネルヴァ書房, 2009年)
- (再掲) 椋野美智子・田中耕太郎 『はじめての社会保障』[第9版](有斐閣アルマ, 2012年)
- (再掲) 宮本太郎 『生活保障 排除しない社会へ』(岩波新書, 2009年)
- 阿部 彩 『弱者の居場所がない社会 貧困・格差と社会的包摂』(講談社現代新書, 2011年)
- 島崎謙治 『日本の医療 制度と政策』(東京大学出版会, 2011年)
- 堤 修三 『介護保険の意味論 制度の本質から介護保険のこれからを考える』(中央法規出版, 2010年)
- 権丈善一 『再分配政策の政治経済学』I～V(慶應義塾大学出版会, 2001～2009年)
- 細野真宏 『「未納が増えると年金が破綻する」って誰が言った? ～世界一わかりやすい経済の本～』(扶桑社新書, 2009年)
- 太田啓之 『いま、知らないと絶対損する年金50問50答』(文春新書, 2011年)

第4章 「福祉レジーム」から社会保障・福祉国家を考える

- G・エスピン-アンデルセン 『福祉資本主義の三つの世界 比較福祉国家の理論と動態』(岡沢憲英・宮本太郎 監訳 ミネルヴァ書房, 2001年[原著1990年])
- G・エスピン-アンデルセン 『ポスト工業経済の社会的基礎 市場・福祉国家・家族の政治経済学』(渡辺雅男・渡辺景子 訳 桜井書店, 2000年[原著1998年])
- G・エスピン-アンデルセン 『アンデルセン、福祉を語る 女性・子ども・高齢者』(京極高宣 監修/林 昌宏 訳/B.パリエ 解説 NTT出版, 2008年)
- (再掲) 宮本太郎 『福祉政治 日本の生活保障とデモクラシー』(有斐閣, 2008年)
- (再掲) 宮本太郎 『生活保障 排除しない社会へ』(岩波新書, 2009年)
- (再掲) 齋藤純一・宮本太郎・近藤康史 編 『社会保障と福祉国家のゆくえ』(ナカニシヤ出版, 2011年)
- 富永健一 『社会変動の中の福祉国家 家族の失敗と国家の新しい機能』(中公新書, 2001年)
- 藤井 威 『福祉国家実現へ向けての戦略——高福祉高負担がもたらす明るい未来——』(ミネルヴァ書房, 2011年)
- 湯元健治・佐藤吉宗 『スウェーデン・パラドックス 高福祉、高競争力経済の真実』(日本経済新聞社, 2010年)

第5章 国際比較からみた日本社会の特徴

- OECD “Society at a Glance 2011: OECD Social Indicators” (OECD Publishing, 2011)
- OECD 編著 『図表でみる世界の社会問題2 OECD社会政策指標 貧困・不平等・社会的排除の国際比較』(高木郁朗 監訳, 麻生裕子 訳 明石書店, 2008年)
- OECD “How’s Life?: Measuring Well-being” (OECD Publishing, 2011)

- OECD 編著 『世界の若者と雇用——学校から職業への移行を支援する（OECD若年者雇用レビュー：統合報告書）』（濱口桂一郎 監訳，中島ゆり 訳 明石書店，2011年）

第6章 日本社会の直面する変化や課題と今後の生活保障のあり方

- 国立社会保障・人口問題研究所 京極高宣・高橋重郷 編 『日本の人口減少社会を読み解く 最新データから読み解く少子高齢化』（中央法規出版，2008年）
- 宮本みち子 編著 『人口減少社会のライフスタイル』（放送大学教育振興会，2011年）
- 宮本太郎 編 『弱者99%社会 日本復興のための生活保障』（幻冬舎新書，2011年）
- 大嶋寧子 『不安家族 働けない転落社会を克服せよ』（日本経済新聞出版社，2011年）
- 宇沢弘文・橋木俊詔・内山勝久 編 『格差社会を超えて』（東京大学出版会，2012年）
- 濱嶋 朗・竹内郁郎・石川晃弘 編 『社会学小辞典』[新版増補版]（有斐閣，2005年）
- 内閣府 『経済財政白書』（各年版）
- 内閣府 『国民生活白書』（各年版）
- 内閣府 『男女共同参画白書』（各年版）
- 内閣府 『子ども・子育て白書』（各年版）
- 内閣府 『子ども・若者白書』（各年版）
- 文部科学省 『文部科学白書』（各年版）
- 国土交通省 『国土交通白書』（各年版）
- 経済産業省 『通商白書』（各年版）